

一般質問通告書

受領日時 令和8年 6月 8日 午前11時40分 8番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 大川堤防の工事は	(1) 大川堤防工事はどのように進捗しているか、改めて入札結果および工事着手時期を明確にしてほしい。
2 子ども家庭センター移転について	<p>(1) 5/22 開催の全員協議会では、費用対効果の議論がされた際に、当局側から「相談件数を増やすことは良くない」という趣旨の発言が行われた。子ども家庭センターは、当町の子ども・保護者からの様々な相談が多くあるべき場であると考えますが、この発言の真意を確認したい。</p> <p>(2) あそび場との距離が遠いことで生まれるメリットが見えづらい。また費用として、1億近くをかけて整備する必要があるのかどうか。3年後にどのような拠点となることを目指しているのか。KPI がふさわしくないという発言もあったが、税金をどのようにかけて何を残すのか。当町の保護者世帯へのアンケートやヒアリングを行ってから判断すべきではないか。町の考えは。</p> <p>(3) こども基本計画書内に書かれている内容 “子育て支援として今後力を入れていくべきこととしては、「子育てにかかる経済的負担の軽減」が62.4%でもっとも多く、ついで「遊び場の整備」が56.0%となっています。”との整合性は本施策で取れるのか。</p> <p>(4) こども家庭庁が言うような子どもの意見を政策にどのように反映するのか。そのための体制づくりは行っていくのか。</p>
<p>【追加質問】</p> <p>【追加質問】</p>	<p>(5) 行政報告内に記載のあったアンケート調査ですが、結果についてどのように考えているか。予算金額や開館時間、あそびに関する専門スタッフを採用しないなど、細かい部分で必要な情報がなければ、賛成を誘導しやすいアンケートであったが、この点についてはどのように考えているか。今回のアンケートフォームがすでに閉じているので、そのアンケートを議員に印刷して配布をお願いしたい。また、このアンケート結果をHPで町民に公表することは可能か。</p> <p>(6) 相談スペースと多目的ルームの図面(案)は、手書きで書かれているが、これは誰が書いたものか。業者に発注して見積もりをとった金額が約1億の根拠になっているのか。補正予算で約1億の予算を確保する工事内容が、手書きベースなものでは補正予算として妥当性にかけるのではないか。また、そこまで急ぐ理由はなにか。</p>

<p>【追加質問】</p>	<p>(7)「全天候型で子どもたちが安全に遊べる居場所を早急に整備するため、さらに検討と協議を進めていく」とある。こども基本計画書内のアンケートによって、「遊び場の整備」ニーズが多いことは町長もご存じだと思うが、この居場所については、いつまでに誰とどのように協議を進めるのか。また、協議の中に専門家は入れないのか。このあそび場が恒久的な当町のあそび場になるのか。それとも、一時的なあそび場になるのか。町の考えは。</p>
<p>【追加質問】</p>	<p>(8) 包括連携協定の中身は具体的にどのようなものか。連携協定は双方にWIN-WINであるべきであるが、当町にメリットのある交渉は進んでいるか。</p>
<p>【追加質問】</p>	<p>(9) イオンとパートナーとして恒久的な関係を築いていきたいとあるが、具体的なロードマップを教えてください。</p>
<p>【追加質問】</p>	<p>(10) イオンが設立した際の当町の人口は。また、現在および20年後の当町の人口予測は。その人口規模でイオンと恒久的なパートナーを考える際に、GMSのハードとしてのイオンとだけではない関係性を当町は構築しようとしているのか。この点について詳しく町のビジョンや考えを求めたい。</p>
<p>【追加質問】</p>	<p>(11) 今後はお互いに単なるテナント契約という枠組みを超えて、包括連携協定を結んでいきたいとあるが、今回の包括連携協定は、テナント契約がなくても進むものなのか。それとも、テナント契約がないと進まない連携協定なのか。当町における、イオンとの連携協定によるメリット、デメリットを町はどのように考えているか。</p>
<p>【追加質問】</p>	<p>(12) イオンに子育て支援拠点施設を設置した場合、熊や夏の暑さの問題はあるが、雀館エリアでこれまで約6000万程度かけた公園整備などのエリアマネジメントとの整合性はどのように考えていくのか。ふれあい館など既存施設の活用はどのように考えたのか。五城目町はこれからどこに子どもの居場所を集約しようとしているのか。</p>